

令和 4 年 2 月 10 日時点

(1) 事務事業の概要		
① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	市内の教職員に対しさまざまな研修の機会を保障し、専門性を高め、指導力向上を目指す事業である。毎年行う必要のある研修や時代のニーズに応じ必要となる研修を市独自に企画・運営し、年度ごとに見直しを行っている。 【参加対象】 市内小・中学校教職員及び講師等	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
教育公務員特例法第21条には「教育公務員は、その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない。」と定めている。市では、児童生徒の学力向上や豊かな学びを保障するため、市内に勤務する教職員に独自の教職員研修を行っている。	教育を取り巻く環境は年々変化し、新たな課題も山積している。また、近年大量の教職員が定年を迎え、若手教員が増加する中、教職員研修の意義はますます重要性を増してきている。	各研修への参加者の満足度は高く、9割以上の参加者が日程や内容に満足したと答えている研修が多い。

従事職員数 常時 1 人 最大 5 人 × 日 = 延べ 人

手段	① 主な活動		⇒	③ 活動指標名		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)
	2年度実績(2年度に行った主な活動) 旭市小・中学校道徳教育研修会、旭市外国語教育研修会、旭市小・中学校指導力向上研修会、旭市小・中学校教職員各層における職能研修会、旭市小・中学校若手教員育成研修会、旭市小・中学校長欠対策研修会、旭市小・中学校教務主任等研修会の7の研修会を実施した。			ア	旭市教職員研修会実施数	研修会	8	7	7	7	7
	イ	旭市教職員研修会実施日数		日	27	14	14	12	11		
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		⇒	④ 成果指標名		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)
	対象意図	市内教職員 教職員としての専門性の高まり、指導力向上		ア	研修会参加者の日程への満足度	%	98.6	98.5	98.3	96.7	98.0
	対象意図			イ	研修会参加者の研修内容への満足度	%	98.7	99.0	99.4	93.9	98.0

①成果優先度評価結果		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			④
	普通			
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
成果優先度 評価結果	①			
	②			
	③			
	④⑤	(4)		
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

年度	ア	イ
H29	100.0	100.0
H30	100.0	100.0
R1	100.0	100.0
R2	95.0	95.0
R3計画	100.0	100.0

評価内容	① 進捗状況														
	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難														
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)														
	② 成果の状況														
	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	☐ 向上	☒ 横ばい	☐ 低下	成果動向	比較	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	
成果指標イ			数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☒ 低下	ア		29年度	30年度	1年度	2年度	3計画		
【コメント】 (低下の場合、その理由)															
緊急事態宣言発令期間の研修を中止したため。 オンライン会議中に、通信に不具合があり、研修者の満足度が低下したため。															
③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な事項について記載)															
時期		内容				今後の方向性									
令和4年2月まで		教職員のニーズや時代に合わせて見直された研修の運営を行う。主なものとしては、教務主任等研修会、外国語教育研修会の準備を進め、実施する。				☐ 拡大 ☐ 縮小	☐ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☒ 見直し ☐ その他()	令和4年度2月まで 令和3年度の研修参加者や各校からの事後アンケートを基に、実情に合った研修を企画するとともに、研修方法についても今年度の反省を基に、次年度(令和4年度)に向けて工夫・改善をしていく必要がある。						